

茨城県民間保育協議会青年部

いしずえ

礎

皆様、明けましておめでとう御座います！！

■茨城県民間保育協議会青年部研修会■

10月30日、水戸市県立県民文化センター別館にて、青年部研修会「保育所におけるリスクの理解とリスクマネジメント」講座が開かれました。

50人以上の方から申し込みがあり、この事からも、いかにリスクマネジメントに対する保育関係者の関心が高いか、という事がわかります。(本文は次ページに→)

【講演者】：秋山 安夫 氏

【職業】：弁護士

秋山法律事務所 代表

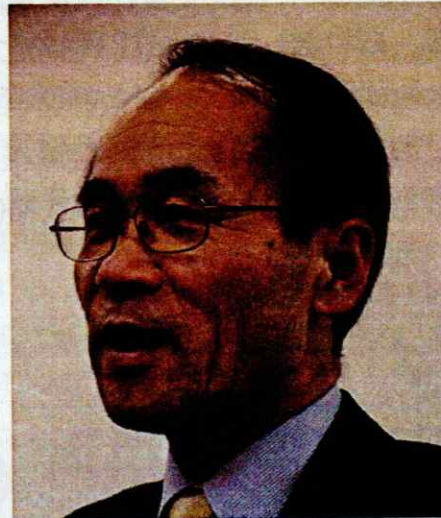
昭和54年10月 司法試験合格。

東京地検検事ほか、3地検を経験し、

平成2年から、県弁護士会所属弁護士になる。

平成9年から平成10年までは、茨城県弁護士会副会長を務める。

平成12年から、現在に至るまで水戸家庭裁判所家事調停員を務める。



☆ トピックス ☆

- 茨城県民間保育協議会青年部研修会
- 青森・茨城・広島三支部合同研修会報告
- 全国私立保育園連盟青年会議秋田大会報告
- 日保協青年部全国青年保育者会議横浜大会報告
- こんなことがありました

エコ活動の一環として、両面印刷、NO ホチキスにて配布いたします。御了承下さい。



近年裁判員制度もはじまり、裁判に対する国民の興味がさらに高まりを見せています。我々の社会生活にとって、裁判というものがより一層身近なものとして感じられるようになってきました。

それは、同時に保育園の保護者や父兄たちにも、身近なものとして浸透しつつあるということです。園児に万が一の事態が起きた場合、訴訟を起こされ、裁判沙汰になるケースというのも今後増えてくると予想されます。

現に、今回の講演会で、50人以上の保育関係者が集まった事でも、講義内容に対する関心が高いということがわかります。

講演では、講演者の秋山先生に、ご自身の経験を通じ、実際に保育所で起きたケースを民法、刑法に照らし合わせ、ケースごとにどのようなリスクを負うことになるか、お話していただきました。

莫大な慰謝料を払わなければならないことはもちろん、些細な事で訴訟を起こされた場合でも、園にとって多大なリスクを背負うということ、それどころか、対応が少しでも遅れただけで莫大な賠償金、最悪の場合、自身が懲役刑を受けなければいけなくなる事があるということなど様々です。

子どもは未来の財産・・・とよく言われますが、まさにその財産を傷つけ、失ってしまった時のリスクは、取り返しがつかないものとなってしまいます。

これから、核家族化も進んで、園と保護者側の関係も希薄になりがちです。しかし、そのような事態においても、ちょっとした職員とのコミュニケーションや、父兄とのコミュニケーションを取っておけば、信頼関係を築いておくことで訴訟リスクから免れることが出来るかも知れないのです。

大宮聖慈・聖愛保育園 後藤 貴哉



■日本保育協会 青森・茨城・広島三支部合同研修会報告■

11月5日に東京都の子どもの城で開催された三支部合同研修会に参加させていただきました。講師として厚生労働省少子化対策企画室長朝川知昭氏、日本保育協会常務理事 萩原英俊氏よりご講演いただきました。

講演内容といたしましては、



- ・行政刷新会議において財政確保のための事業仕分けの状況や地方分権の方向性
- ・子ども手当の内容・児童手当廃止に伴う影響
- ・保育制度の巡る動きや仕組み

など、政権交代したことでの影響や取り組みの方向性についてご講演いただきました。

その後、講演の内容を整理しながら、三支部長による鼎談が行われ、広島県支部長 高橋英治氏・青森県支部長 坂崎隆浩氏・茨城県支部長 東ヶ崎静仁氏より、保育界が置かれている現況を語っていただき、これから起こりうるであろう保育所の動向や課題を限られた時間ではありましたが、示唆していただきました。保育所を運営する上で、これらの動向や課題を把握でき、大変有意義な研修会となりました。

玉里・玉里第2保育園 戸田 見良



■ 青年部新入会員紹介 ■

氏名 : 鬼澤 英二
園名 : つくし学園
役職 : 事務



はじめまして、つくし学園の鬼澤と申します。今まで20年近く調律師として働いてきましたが、今年4月から当園の仕事に携わり、青年部の研修委員としてもお手伝いさせて頂くことになりました。

調律師としてピアノの講師や音楽アーティスト、音大生などいろいろな方々にいい音づくりをお手伝いしてきました。今までの経験や人脈をこれから保育の世界で活かさればなと思っています。

青年部の委員会へは、先日初めて参加させて頂き、まさに生氣横溢といった感じで皆さんの活気ある姿に、こちら元気を頂きました。これから一保育者として保育園としての役割、在り方など、先輩方のご指導を頂き勉強していきたいと思っています。

また、ピアノに関する事(買い替え、移動、調律など)であれば何でもお気軽にご相談ください。青年部特別価格!!にてやることをお約束いたします。

氏名 : 松山 圭一郎
園名 : まつやま中央保育園
役職 : 副園長



皆様はじめまして、今年度から保育業界ならびに青年部に飛び込ませて頂きました松山圭一郎31歳です! 職歴は若干異色かもしれませんが、学校を卒業後、マンションデベロッパーに就職し、主にマンションの企画・開発を担当、その後、老人ホーム運営と不動産コンサルを行う会社の設立に携わり、不動産部門の担当しておりました。

いわゆる不動産屋が右も左もわからない状態で「自身の定め!？」によりこの業界に飛び込み9カ月が経ちました。昨今は元気いっぱいな子供達と優しい職員に囲まれ日々楽しく仕事をさせて頂いております。

青年部では諸先輩方のご指導を賜りながら、勉強をさせて頂きたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ致します。

■ 青年部新入会員紹介 2 ■

氏名 : 長谷川 夏生
園名 : 真壁保育園
役職 : 副園長



今年の6月から広報委員会でお世話になっております長谷川と申します。どうぞよろしくお願いたします。保育園に来て、丸4年が過ぎましたが、何も分からないことばかりですので、皆様方のご指導をよろしくお願いたします。

青年部の方々は、本当によく勉強されていて、わたしももっと保育のことを勉強しなくてはならないと身の引き締まる思いです。

保育園では、多数の園児を長時間集団で保育するうえに、園内で給食も出しますし、バスも運行しており、何かあったときには責任を問われるようなことばかりです。保護者の皆さんの意識も大変変わってきており、細かく調べていくと、実はこんなことをしなくてはならないし、あんなこともしなくてはならないと、きりが無いという感覚ももちますが、青年部の方々にいろいろ教えていただいて、園児たちのしあわせのために、がんばっていきたいとおもいます。

氏名 : 後藤 貴哉
園名 : 大宮聖慈・聖愛保育園
役職 : 事務



今年から、保育の世界に足を踏み入れましたが、知らない事ばかり、わからない事ばかりで、のたうち、苦しみながらも悶え続ける日々で思わず叫びだしたい衝動に駆られながら、広報委員会で勉強させていただくことになりました。よろしくお願いたします。

とにかく、本当に何もわからないので、子ども達と遊びながら、園の事、保育の事を勉強しようかな、とっていました。…とっていました。それだけでは、めまぐるしく変遷を続ける、保育業界の荒波を乗り越える事など到底無理!!!気付いたら、すでに乗り遅れて孤立しているのでは!!!!と危機感を感じ、慌てて青年部の門を叩きました。

広報委員会は、色々な保育園を見て回る事ができ、全く知らない保育の世界を広げてくれる本当にありがたい委員会です。色々な経験や勉強や出会いをさせてもらえること間違いナシです!!!さあ、みんな、青年部広報委員会に Come On!! Join Us!!!

■全国私立保育連盟青年会議「秋田大会」参加報告■

11月18日・19日と全国私立保育連盟青年会議秋田大会に参加してまいりました。

今回は、私保連青年会議茨城県支部長の工藤先生の代形で、全国私立保育連盟青年会議の第3回幹事会にも出席してきました。

まず、幹事会は、午後の秋田大会が開催される前の午前中に開催され、各支部長ら25名が出席し、青年会議の規程の一部改正や次期全国大会について審議されました。

また、今回の規程一部改正については、支部によって意見が分かれ、一度、各支部に持ち帰り、今後も検討が必要と議論されました。

秋田大会の第一日目は、開会式で秋田県知事、秋田市長、日保協全国青年部長の来賓を迎え、参加者382名と盛大に行われました。

その後、分科会（第一分科会・子どもの育ちを支える保育制度の展望、第二分科会・子ども虐待と保育者のかかわり、第三分科会・新保育指針における危機管理、第四分科会・子どもが集中して遊びこめる環境作り）に分かれ、それぞれ実のある分科会となりました。

私は、第二分科会の子どもの虐待と保育者のかかわりに参加し、山梨県立大学人間福祉学部教授 西澤哲氏より、ご講演を頂き、近年の保育現場の虐待や現場で働いている保育者に必要な知識、心構えなどの話を交えながら、貴重な話を聞くことが出来ました。

夜は、情報交換会として、秋田ならではの余興があり、「なまはげ郷神楽（さとかぐら）」や地元出身の「ジャズシンガーのJOLLEさん」など盛り沢山で行われ、大盛況でした。

第二日目は、情勢報告として、全私保連常務理事 菅原良治氏より、政権交代後の政界の動きや今後、私保連としての政界与党との関係など話がありました。

次に、今回の目玉の記念公演として「俳優 柳葉敏郎氏」の講演がありました。柳葉氏は、とても気さくで親

みやすいトークで話され、地元秋田に拠点を置いて、俳優業をやられている理由や子育ての考え、躰に関する捉え方など、本人なりの思いを熱く語られていました。

閉会式では、次期開催の北九州大会の実行委員らが、お揃いの半被を着込んで、PRをして、めでたく閉幕となりました。

今回、初めて私保連青年会議の全体会に参加し、さまざまな地域からの保育園の先生方と知り合うことができ、有意義な機会となりました。幹事会では、各支部長の先生の考え、青年会議会への捉え方、取り組み方など意見を聞くことができ、とても学ぶものが多く、勉強となりました。

私立保育連盟担当 柳澤克彦



■第31回日本保育協会青年部全国青年保育者会議横浜大会報告■

平成21年9月2・3・4日

テーマ いいじゃん!! 横浜

さあ、今こそ出航の時 ～ 私達大人が夢のモデルに ～

横浜市と神奈川県両支部主催の青年会議が、パンパシフィックホテルを会場に実施されました。広大なホールを埋め尽くす参加者に圧倒された3日間でした。盛りだくさんの講演、分科会の中で得に印象に残った2日目のパネルディスカッションについてレポートいたします。

『今私達ができること』 ～ 真の地域連携への挑戦 ～

ここでは、パネリストに保育園・幼稚園・小学校・独立型子育て支援センター・企業の代表者をすえ、地域の多くの人々が包括的に子育てに関わるための実践を中心に活発な議論が

展開された。特に実際に行われている保育園と小学校の連携の事例は、その良い意味での密着性と通気性に目を見張るものがあった。一例を挙げると、まず小学校の先生と保育士が同席した懇親会からスタートし（もちろんお互いまだガチガチまるで集団お見合いのような）、保育士のダンスや歌、遊びの園内研修に小学校教諭が参加し体育館で一緒に踊る。スーツを着たベテラン先生方が、かわいいエプロン姿の保育士と踊る姿は一見の価値がある。さらに度重なる合同会議を経て学校側のカリキュラムが作成されているのである。今までの（たぶんこれから）書類十少々口頭のみでの形式的な情報交換からは考えられないものが作られているのであろう。それを可能にしたのが、小学校教員に園の活動を理解してもらうという逆の発想である。園で日々実施している活動が小学校に於いてどのような役割を果たすのかを保育士自身が理解するきっかけとなるだけでなく、小学校の先生達が興味を持ってゆく。それが保育園から小学校へと途切れることのない育成に反映するとすれば多くの子どもたち



にとって有意義であるばかりでなく、小一プログラムにも有効な手段となり得よう。まして発達障害やグレーゾーンのより篤い支援を必要とする子どもたちの就学については尚更である。

そしてこれを実行するに当たって何よりも重要なのが、保育園からの歩み寄りである。日々の散歩ルートに小学校を加え、まずは押しかけてみる（言葉は悪いですが）、さらに行事のたびに招待状を出し場合によっては児童を招待する（一種の合同行事として）、等々学校側はどうあれ保育園からの積極的なプッシュが道をひらくのである。

瓜連保育園 小笠原 聖華



こんなことがありました

ある美人職員の話です。いつもの通勤途中、毎日同じ時間、同じ道を運転していました。すれ違う車も一緒！狭い道を通勤路につかっていた美人職員は素敵な男性と毎日、車ですれ違うようになりました。そんな中、いつのまにか恋心が芽生え、勇気を出して声をかけることにし、メールアドレスを渡すことを思いつきました。ある日、いつもよりゆっくり運転しながら車の窓を開けてメールアドレス渡そうとしたところ、素敵な男性の車の窓も偶然か開きました。なんと、相手も同じ恋心を抱いており、相手も連絡先のメモを用意していました。その後は語るまでもなく、ご想像通り！！美男美女のカップルはめでたくゴールインとなりました。

そんな素敵な出会い、そうそうありませんよね！いえ、どこかに落ちてませんか？

(S保育園)

編集後記

タバコすいてええええええええええええ!!!!!! あああああああああああああ!!!!!!
初っ端から取り乱して申し訳ありません。禁煙して気が立っていたので言葉が多少乱暴になってしまいました。

というわけで、今回は何故、私がタバコのない、健全な、正常な肺機能に戻すための地獄のような日々を送らなくてはいけなくなってしまったのか、その理由をお話したいと思います。

10月某日、地元の保健所から、青少年喫煙防止キャンペーンの為に紙芝居製作依頼がやって参りました。私はバリバリのスモーカーなのにこれの製作に関わっているのかなと思いつつも、欲に負けて吸っておりました。(実際製作していただいたのは保育士さんなんですか)
紙芝居もいざ完成し、その効果を実証するために、自園の園児さん達に紙芝居を上演することになりました。終わって見るとウケも上々で、皆も口をそろえて「タバコ吸わな〜い」とか、「お父さんに吸わないで〜って言う」などとカワイイ事を連呼するじゃありませんか。

しかし、そんな光景をえびす顔で眺めていた私に、
あんな口にするのも憚る様な恐るべき畏が待ち受けていたなんて!!!! (つづく)
(初心者ドライバーG)

〒310-8586 水戸市千波町1918
茨城県民間保育協議会青年部広報委員会発行

